

ユニバーサルサービス委員会
プレゼンテーション資料

イー・アクセス株式会社

平成20年5月27日



1. 変遷と課題の整理 (1)

ユニバーサルサービス制度の変遷

02年 6月 ユニバーサルサービス制度導入
※この間、制度は稼働せず

05年10月 「ユニバーサルサービス基金制度の在り方」答申で見直し
・ ベンチマーク方式の採用
・ 電気通信番号数ベースへの抛出

06年 4月 制度改正

06年11月 ユニバーサルサービス制度の交付金等の認可

06年11月 情通審答申「地理的料金格差の是正要請」

07年 1月分より 06年度分徴収開始 (7円/1電話番号)

07年 3月 審議会答申「全国平均費用+2σ」

07年 9月 情通審答申「NTSコストを接続料金原価に20%ずつ算入」

07年12月 ユニバーサルサービス制度の将来像に関する研究会

- ・ フェーズ1 (2009~2011) : 引き続き、加入電話等
- ・ IP化補正
- ・ フェーズ2 (2012~) : ユニバーサルアクセスの概念

08年1月分より 07年度分徴収開始 (6円/1電話番号)

競争の進展

負担の公平性

利用者負担額の抑制

利用者負担額の抑制

IP電話の増加による負担額の低下の抑制

08年4月～施行3年後の見直しにおける検討の材料

1. 変遷と課題の整理 (2)

フェーズ1とフェーズ2における検討の明確な区分

フェーズ1

- ・ユニバーサルサービスの負担金額の抑制
- ・制度の安定性・信頼性の確立
- ・制度に対する予見性の確保
- ・消費者との間のコンセンサスの醸成

- ① ユニバーサルサービスの範囲
- ② 負担金の算定方法
- ③ 負担金の負担方法
- ④ 接続料金との関係
- ⑤ 利用者料金のリバランシング

フェーズ2

- ① 検討における必要な観点
- ② NTT東西殿によるPSTN移行

2. フェーズ1での課題（1）

フェーズ1における考え方の前提

制度の枠組みは継続が適当、但し、細部の見直し及び接続料金との関係については改めて整理が必要

① ユニバーサルサービスの範囲

ユニバーサルサービス制度の将来像に関する研究会報告（07年12月）

1) IP化の進展に対応した制度見直しの基本的視点

～略～

他方、この段階においては、光IP電話、携帯電話その他のサービスについては、以下において検討のとおり、ユニバーサルサービスの対象サービスの範囲とすることが適当とは考えられないため、フェーズ1においては、現行制度の枠組みを維持することを基本とすることが適当である。

大きな情勢の変化は認められないため、フェーズ1におけるユニバーサルサービスの範囲は、加入電話等とし、継続が適当

2. フェーズ1での課題（2）

② 負担金の算定方法

- ・ LRIC方式によるコスト算定
- ・ 高コスト回線（4.9%）とベンチマーク（全国平均費用+標準偏差の2倍の額）の差額を補填

以下の理由から、現行方式は継続が適当

- ・ 負担金の増加を抑制することが可能
- ・ NTT東西殿に対するコスト削減インセンティブ

- ・ 光IP電話へ移行した加入電話の回線数を負担金算定において考慮し、負担金額の減少を補正（IP化補正）

まずは、NTT東西殿の効率化及び経営努力によって吸収されることが必要、IP化補正は、安易に実施すべきではない
ただし、補正する場合でも、吸収不可能な最低限の範囲で、行われるべき

- ・ 全国の第一種公衆電話に係る原価と収益の差額（相殺型の収入費用方式）
- ・ 公衆電話の減少状況 94年の80万台から06年の36万台へ

利用の減少が更に進めば現行方式では補てん額が増加するため、補てん額の抑制が必要、利用状況を踏まえながら、第一種公衆電話の範囲の見直しは必要

2. フェーズ1での課題（3）

③ 負担金の負担方法

- ・ 電話番号数をベースとした応分の負担
- ・ 10億円超の売上高を有する事業者

以下の理由から現行方法は継続することが適当

- ・ ユニバーサルサービスの範囲が加入電話等であり、受益者負担の原則との間で整合性
- ・ 番号単価は、負担金に対する客観的な把握が容易

ただし、現行は、データサービス等のみに付与される番号であっても対象に含まれているため、負担の公平性の観点から、負担の対象外へ見直しすることが適当

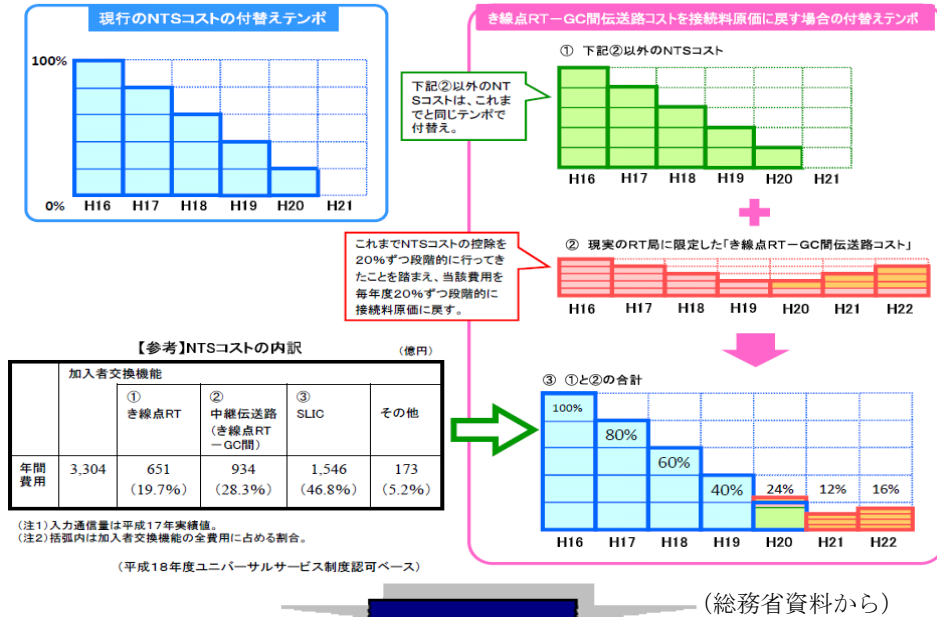
- ・ ユニバーサルサービス料の利用者への転嫁状況

- ・ 制度の趣旨及び負担額については、行政、支援機関、事業者が一体となり、利用者へのコンセンサスを得られるように引き続き努力すべき
- ・ なお、本来的には各事業者にて判断すべきもの

2. フェーズ1での課題 (4)

④ 接続料金との関係

NTSコストの付替えについて



ユニバーサルサービス制度の将来像に関する研究会報告 (07年12月)

⑤高コスト地域における加入者回線コストの補てんのあり方

第21回ユニバーサルサービス委員会
(参考資料)

IP化の進展に伴う現行算定方式への影響
(PSTNからIP網への移行によるメタル加入者回線コスト負担への影響)

NTSコストは、競争進展と本来、関連性がないため、当面の間の止むを得ない措置としても、本来は接続料原価に付替えすることは適当でない

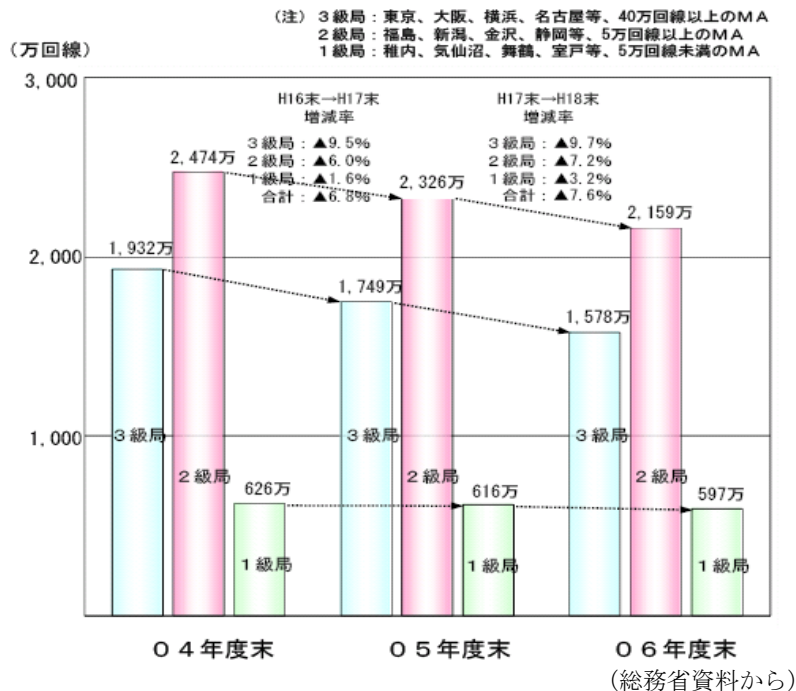
すでにメタル加入者回線コストは上昇傾向にあり、メタル加入者回線の接続料コストに新たな追加コストがのせられることは強く懸念。

接続料金との間のコスト付替えは、接続料金制度の公平性と安定性を損なう可能性があるため、厳格に運用されるべき

2. フェーズ1での課題（5）

⑤ 利用者料金のリバランシング

加入電話の級局（MA）別回線数の推移



2・3級局を中心に回線数が減少傾向

ユニバーサルサービス制度に基づく交付金の額及び交付方法の認可並びに負担金の額及び徴収方法の認可

情報通信審議会からの答申（06年11月）

（3）利用者利益の最大化に向けた料金体系の継続的検討

～略～

このため、NTT東・西が現行基本料体系を見直す場合、ユニバーサルサービス制度の在り方に影響を与えることにかんがみ、以下の点を要望する。

- ・基本料体系を具体的にどのように見直すかについては、原則としてNTT東・西の経営判断に委ねられるべきであるが、NTT東・西において、IP化の進展などの市場構造の変化を踏まえた基本料体系の在り方について検討を継続し、当該検討の結果、基本料体系を見直す場合には、速やかに総務省に報告し、これを公表すること。

級局別格差是正について、NTT東西殿は、早々に結論を出すべき

3. フェーズ2での課題（1）

① 検討における必要な観点

- 1 構成要件との整合性を図ること
- 2 健全な市場競争が阻害されることがないこと
- 3 市場競争を歪める過剰な負担金とならないこと
- 4 消費者のコンセンサスが得られる検討手順でありスキームであること

構成要件「**essentiality**」「**affordability**」「**availability**」の定義に合致するユニバーサルサービスの枠組みとすること

PSTNの取り扱いについては、NTT東西殿のPSTN移行計画を十分に踏まえること

ユニバーサルアクセスに対しても、上記の観点に従って、「どのようなサービスが構成要件とあっているのか」、「負担金で支援する対象は何か」、「受益者は誰か」、「負担者は誰か」等をオープンに検討していくことが必要

3. フェーズ2での課題 (2)

② NTT東西殿によるPSTN移行

※5/13 NTT決算資料「サービス創造グループを目指して」から

- (IP)
- ・ 08年3月、NGNサービスの商用化
 - ・ 2010年度 固定/移動ともにフルIPのNW基盤を構築
 - ・ 2012年度 ブロードバンド・ユビキタスサービスの本格展開
既存IP網からNGNへのマイグレーション完了

- (PSTN) PSTNの移行について下記課題を検討の上、2010年度に概括的展望を公表
- ・ PSTN交換機の活用可能期間
 - ・ NGN收容の経済性比較
 - ・ マイライン、ユニバ基金等の固定電話における制度
 - ・ 政府・自治体によるデジタルデバイド対策の方向性

「NTTグループ中期経営戦略の推進について」(2005年11月発表) ～一部抜粋～

次世代ネットワークと既存の固定電話網の併存による非効率性を解消するための具体的な取り扱いについては、光アクセスによる次世代ネットワークの需要動向を踏まえて2010年度までに策定

「NTTグループ中期経営戦略」(2004年11月発表) ～一部抜粋～

○「メタルから光」「固定電話網から次世代ネットワーク」「メタルから光」「固定電話網から次世代ネットワーク」へ切り替えることとし、その方針を2010年までに策定

○2010年には、3000万(全加入者6000万)のお客様が光アクセスと次世代ネットワークにシフト

フェーズ2におけるユニバーサルサービス制度の検討においては、NTT東西殿からのPSTN移行計画の早期提示が必要

4. まとめ

ユニバーサルサービスの負担金額は、継続して抑制されるべき

安定した制度運用をおこない、予見性を高めるべき

公衆電話の負担金算定、並びに負担対象となる電話番号の範囲は、見直しの検討をおこなうべき

接続料金との関係は、厳格な運用を図るべき

フェーズ2は、構成要件との整合性等を図りながら、制度の枠組みの検討が行われるべき